

禅

文化

入場料

平成 30 年 10 月 8 日（月・祝）

12 時 開場
12 時 45 分 開会

会場 「駒澤大学記念講堂」（東京都世田谷区駒沢一、二、三、一、二）

第一部 講演会「日本における達磨」

（駒澤大学禅プランディング事業公開講演会）

第二部

いす坐禅

（坐禅指導 角田泰隆（駒澤大学仏教学部教授））

和太鼓実演

（和太鼓集団「鼓司」 三重県曹洞宗青年会）



弘麻玄猿画賀「達磨図」
(駒澤大学禅文化歴史博物館所蔵)

展示 第52回全国青少年書道展上位入賞作品展示及び

駒澤大学禅プランディング事業紹介コーナー等

合同企画 曹洞宗宗務室・駒澤大学禅プランディング事業チーム
お問い合わせ先 03-3454-5415 (曹洞宗宗務室教化部)

禪 文化之全

プログラム

12時
45分

13時
10分

開會音楽第一日本

第一首

「日本における達磨」

駒澤大学裡アーティング事業公開講演会

①言い尽くせない達磨

駒澤大学仙教部教授 鶴塚大辰

②達磨図について

駢澤大學仙教學語教授松智文

③江戸時代の達磨さん

惠澤文選 卷之三

第二部

いす坐禅 坐禅指導
和太鼓集団「鼓司」

三重県曹洞宗青年会

16時
00分

*都合により一部日程を変更する場合がございます。

協力団体「駒澤大学合唱団」

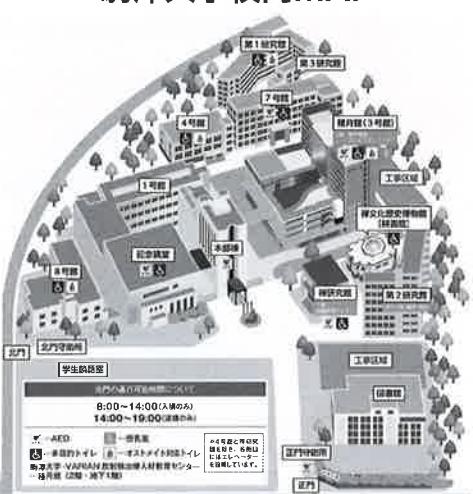
駒澤大学合唱団

最寄り駅からのMAP



東急田園都市線「駒沢大学」駅下車。
「駒沢公園口」出口から徒歩約10分。

駒澤大学校内MAP



◆「禅をきく会」×駒澤大学 ZEN, KOMAZAWA, 1592

曹洞宗による「禅をきく会」は、広く「禅」に親しんでもらうため一般の人達を対象とする、「禅」をテーマとした講演会であります。昨今では、坐禅体験として「いす坐禅」を取り入れたり、ステージの特性を活用して修行道場を再現した『法悦』や梅花流詠歌舞など、「禅」の魅力を多面的に発信して参りました。

この始まりは、1969年5月19日、東京は有楽町にあった「朝日講堂」(現・有楽町マリオン)からです。当時、山田靈林大本山永平寺副貫首が「世相を思い、道元禪師を思う」、桜井秀雄駒澤大学総務部長が「安らぎの日々」と題してそれぞれご講演があり、さらに、駒澤大学合唱団による仏教聖歌も披露されました。

その駒澤大学は、1592年、水道橋のたもとに所在した曹洞宗寺院「吉祥寺」の中につくられた学林を淵源とします。「仏教の教義と曹洞宗立宗の精神」を建学の理念とする駒澤大学では、2016年度より「『禅と心』研究の学際的国際的拠点づくりとブランド化事業」(平成28年度私立大学研究ブランディング事業採択)を展開中です。

今回の合同企画による協働は、「禅をきく会」、50年目への扉をここに開くものです。